

にぎやか 谷のはやし込み行列

■8月15日 北谷町谷区



北谷町谷区の伝統行事「谷のはやし込み行列」が行われ、軽快なお囃子にあわせて、さまざまな仮装をした行列が練り歩きました。

勝山市で開催 インターハイ登山競技

■8月20～22日 三頭山、取立山ほか



北信越地域で開催された令和3年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）。登山競技が、市内の三頭山、取立山などで行われました。

ランタンに照らされて 旧木下家住宅

■8月21日 北郷町上野区



国の重要文化財「旧木下家住宅」で開催された観月の会。ランタンに照らされた古民家、ジャズとタップダンスの共演が、心地よい空間を作り出しました。

HOT話題

ボランティアで遊具を塗装

■8月7日 鹿谷小学校



奥越塗装工業協同組合勝山支部による鹿谷小学校の遊具を塗りなおす奉仕作業が行われ、塗装が剥げてしまった遊具がカラフルに生まれ変わりました。

八月八日は屋根の日 屋根を無料修繕

■8月8日 ゆめおーれ勝山



福井県屋根工事業共同組合および瓦屋根診断技師会によるゆめおーれ勝山の瓦屋根の無料診断、無料修繕が行われました。

光のメッセージ 子どもたちの灯り

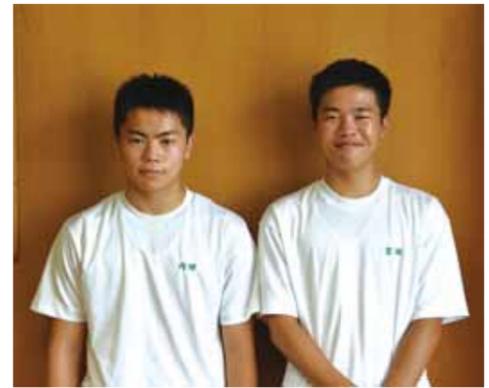
■8月13、14日 教育会館



成器南小学校、成器西小学校の児童が描いた絵やメッセージをあんどんにして展示する「子どもたちの灯り」。来場者は、たくさんのおんどんが作り出す幻想的な雰囲気の中、描かれた絵やメッセージをじっくりと鑑賞していました。

Smile Pick Up! 市民の笑顔お届けします

2人で魅せたプレゼンテーション



(左) 内田 凱翔さん、(右) 吉田 慎之介さん

8月28日、勝山高校2年生の内田さんと吉田さんは、全国の高校生がプレゼンテーションスキルを競う「全国高校生プレゼン甲子園」で優秀賞に輝きました。
29都道府県から409チームが参加し、10チームが決勝に進んだ本大会。2人で磨ぎをかけたプレゼンで決勝でも自分たちの思いを伝えきりました。

「限られた時間内に、自分たちが伝えたいことを分かりやすくまとめることが大変でした。」
2人の熱い思いが詰まったプレゼンは、見事です。
2人とも充実した表情を浮かべていました。
「2人の熱い思いが詰まったプレゼンは、見事です。」
「主にはイラストを担当した吉田さんは、伝えたい内容にあうイラストを描くのに苦労したそうですが、「自分たちの伝えたいことを正確に伝える技術を学べ、大会に参加して良かったです」と笑顔で話して、2人も充実した表情を浮かべていました。」



決勝大会の様子



プレゼン発表の動画はこちら

伊豆大島ジオパーク

他地域のジオパーク紹介 「伊豆大島ジオパーク」

ジオパークまちづくり課 主査(学芸員) まち町 澄秋

現在日本にはジオパークが43地域あります。今回はその中の一つ、伊豆大島全域（東京都大島町）をエリアとする伊豆大島ジオパークを紹介したいと思います。
伊豆大島を含む伊豆諸島は、太平洋プレートがフィリピン海プレートの下に沈み込むことにより形成された火山島です。伊豆大島の最高峰三原山の標高は758メートルですが、海底部分まで含めると1000メートルほどの高さになります。数十万年にわたる火山活動の結果、溶岩や火山灰などが積み重なることで、海面に頭を出して島となったのです。
伊豆大島には、生々しい火山活動の痕跡を見られるジオサイトが多くあります。その一つが地層大切断面です（写真）。高さ24メートル、長さ約600メートルに渡って露出するこの地層は、昭和28年の道路建設工事中に偶然発見されたものです。一見、褶曲（地層ができた後に力が加わって曲がった変形した状態）したように見える地層ですが、実はこの地層は約20万年の間の100回以上の爆発的な噴火によって噴出した火山灰やスコリア（暗色をした軽石



地層大切断面

のような多孔質の噴出物）、火山弾が元々の地形面に平行に積み重なったものなのです。
離島という地理的に隔離された環境では、独特の文化が育まれてきました。例えば、「くさや」が挙げられます。江戸時代初期、水に乏しく水田を作れなかった伊豆大島では、米の代わりに塩で年貢を納めていました。塩の取り立てが厳しく、干物を作るための塩も節約する必要があったのです。そこで魚をつけ込む塩水も捨てるのではなく、塩と水を少しづつぎ足しながら使用するうちに魚から出た成分が発酵して、独特の「くさや液」ができたと考えられています。
火山とそれが生み出した独特の文化を楽しめる伊豆大島ジオパークは、ぜひ再訪してみたいジオパークの一つです。